



メディカル チェック



内科・泌尿器科

のはなし

早期発見・早期治療！泌尿器科の腫瘍の話〜その98

コロナ禍における、新しい『リスク判定健診』の話③

隔月連載の腫瘍の話、前回に引き続き、『リスク判定健診』について、お話しいたします。

去る5月、新型コロナウイルス感染症が、感染症法上の5類に位置づけられ、国内外含めて、人の往来が盛んになってきました。しかし、市中の感染動向は流動的であり、夏休みを前に、今後

も引き続き、感染拡大防止に努めていきたいと思います！

従来の健診やドックは、検尿、採血、画像、内視鏡検査を駆使して、さまざま

まな臓器に異常がないかを調べ、病気を早期に見することを目的としています。しかし、全ての病気を完全に見つけることができない検査はありま

せんし、見つけにくい病気が多くあります。また、感染流行期においては、人と人との接触が密となるような検査を控える必要もでてきます。

一方、前回お話ししましたとおり、『リスク判定健診』とは、ある病気のものを発見する検査ではありませんが、その検査時に発生しているリスクが高いかどうかをピ

ンポイントで予測するものです。採血や尿検査などの簡便な方法で実施することができ、特に、従来の健診などでは発見し

にくい癌などの病気の存在リスクが高いかどうかを判定できるという利点があります。

リスクが高いと判定された時は、その病気に ついての精密検査を行い、病気が発見できれば治療を速やかに開始する、また発見されなければ、今後の発生を想定して、定期検査をこまめに行うこ

とで、早期発見・治療につなげていくことができるといえます。病気の早期発見を目的とした、有用かつ簡便な新しい『スクリーニング検査』と言えます。

当院では、これまでもご紹介してきました、多数の癌に対する『メタロバランスがんリスク判定』検査に加え、認知機能、脳梗塞や心筋梗塞、生活習慣病、ウイルス感染症、肌老化など、さまざま

なリスク判定検査を実施しています。皆様、どうぞご利用ください！

緊急告知！ 6月号でもお伝えしました、当院主催の『第6回あさひかわ市民講演会』、来たる9月3日(日)、イオンシネマ旭川駅前にて、午前10時から2時間弱、4年ぶりに開催致します！内容は、前半は私から、リスク判定健診を含め

た『感染流行期における、癌の早期発見のための健診について』を、後半は旭川医科大学腎泌尿器外科学講座の柿崎秀宏教授から『排尿トラブルの解決法』専門医が解説します』という、2部構成です。ゆつたりシートで、ドリンク片手に、最新の医療情報をお聞きください。詳細は、8月のライナー紙上や当院ホームページでご案内いたします。お問い合わせは、☎0166-2616411、北彩都病院、講演会担当の森まで。皆様お誘い合わせのうえ、ぜひ、ご来場ください！

北彩都病院 泌尿器科
癌診断・治療センター長
徳光 正行
医学博士、日本泌尿器科学会専門指導医、日本がん治療認定医

北彩都病院 宮下通9
〒0166-2641
永山腎泌尿器科 永山2ノフ
〒0166-465000
クリニック